

## 仕様変更のご案内

### SE2L形 セーフティレーザスキャナ

SE2L形セーフティレーザスキャナの機能追加および設定ソフトウェア「SLS Project Designer」のバージョンアップについてご案内いたします。

2017年1月発行の文書（A-2016070）について、新旧バージョンの組合せの注記内容に追記（注4）をさせていただきます。

#### 実施時期

2017年2月出荷分より順次実施

※実施時期前であっても、現行品の在庫が無くなり次第、変更後の製品を出荷させていただきます。



#### 対象製品

品名	接続方式	形番
SE2L形 セーフティレーザスキャナ	ケーブルタイプ	SE2L-H05LP
	コネクタタイプ	SE2L-H05LPC

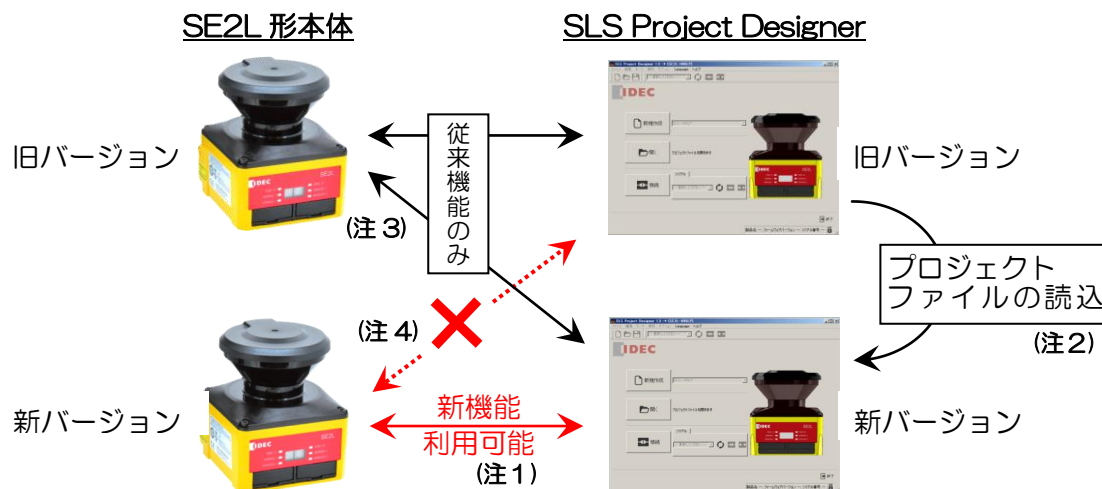
- ・形番、価格の変更はありません。
- ・設定ソフトウェア「SLS Project Designer」は、SE2L形本体に付属しています。

#### 変更内容

SE2L形本体ファームウェアのバージョンアップにより、機能アップを行います。それに伴い、設定ソフトウェア「SLS Project Designer」もバージョンアップします。変更内容は下記のとおりです。

- ① アプリケーション（用途）選択**  
「SLS Project Designer」にて、新規プロジェクトを作成する際に、最初に存在検知や侵入検知などのアプリケーション（用途）を選択することにより、用途に適した初期値が設定されます。また、設定された初期値の変更も可能です。
  - ② 7セグメントディスプレイ反転表示機能の追加**  
SE2L形本体を上下逆に設置した場合でも、7セグメントディスプレイ表示を正しく表示するように、表示方向（上下反転）の選択が行えます。
  - ③ 発光停止モードの追加**  
機械や装置のスタンバイ時などに、レーザ発光を停止して周辺機器への光干渉を防止する設定が行えます。
  - ④ スキャン間引きモードの追加**  
周辺機器への光干渉の影響を軽減するために発光頻度の調整が可能になります。
  - ⑤ 通信コマンドの追加**  
イーサネット通信により設定した領域データの読出しが可能になります。またSE2L形本体のステータス情報のみを出力するコマンドを追加します。
  - ⑥ 領域表示の見やすさの改善**  
デュアルプロテクション機能を選択して防護領域を2つ描画する際に、パソコン上に表示された領域の境界が見やすくなります。
  - ⑦ 最小検出幅の設定値の追加**  
侵入検知用途におけるユーザの利便性を向上させるために、最小検出幅の設定として、φ150mm設定を追加します。
  - ⑧ エンコーダの許容誤差の拡大**  
2台のエンコーダのパルス数の許容誤差範囲が広がります。
  - ⑨ Windows10への対応**  
「SLS Project Designer」が従来のバージョンに加えて、Windows10にも対応します。
  - ⑩ エリアの回転、反転表示の追加**
- ※ 本変更による検出仕様の変更はありません。  
詳細は新バージョンのマニュアル（SE2L形本体に付属）をご覧ください。

## 新旧バージョンの組合せ



注1：新機能の利用は、新バージョンのSE2L形本体と新バージョンの「SLS Project Designer」を組合せて使用した場合のみとなります。

注2：旧バージョンの「SLS Project Designer」で作成したプロジェクトファイルは、新バージョンの「SLS Project Designer」で、変更や新機能の設定が行えます。

注3：新バージョンの「SLS Project Designer」で作成したプロジェクトファイルは、Micro USBケーブルを介して変更やモニタが行えますが、Micro SDカードを介しては書込みできません。

注4：旧バージョンの「SLS Project Designer」で、新バージョンのSE2L形本体の変更や設定を行わないでください。旧バージョンの「SLS Project Designer」で作成したプロジェクトファイルを新バージョンのSE2L形本体に書込んだ場合、予期しない動作をするおそれがあります。

## 識別表示

変更後は製品のシリアル番号の末尾に“C”を追加します。シリアル番号は製品、個装ケースの両方に表示します。また、「SLS Project Designer」は、CDラベルに「Version. 2.0」を表示します。

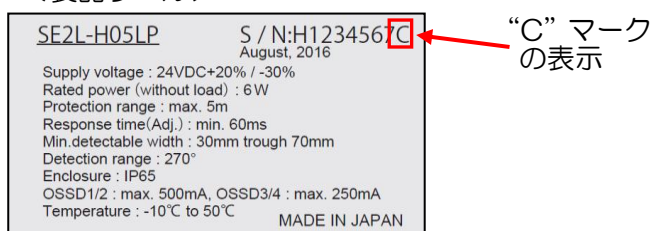
<個装ケース>



<CDラベル>



<製品ラベル>



以上